












1	大阪府訪問看護専門研修事業
連携先	
活動期間	2016年度～継続中
実績・報告	<p>大阪府訪問看護専門研修事業の一部を受託し、訪問看護師等に必要な専門分野の実践能力向上を図る訪問看護実務指導者研修を実施した。オンデマンド型WEB研修として、4コース（各5講座）の講義動画を配信した。（担当 看護学研究科 三輪恭子）</p> <p>Aコース：生活を支えるベーシックケア Bコース：対象別アドバンストケア Cコース：新しい訪問看護の知と技 Dコース：思考力を鍛える</p>
Webサイト	https://www.omu.ac.jp/nurs/ohc/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 




2	特定健診受診率向上プロジェクト
連携先	大阪府、市町村
活動期間	2020年度～2022年度
実績・報告	<p>特定健診の受診率向上は大阪府の重要な健康課題の一つである。2020年度に、モデル5市における大規模な実態調査および大阪府内の地域特性の分析を実施し、それらから得られた知見と既存のエビデンスを基に効果的な受診勧奨を提言した。加えて、2021年度に、効果的な受診勧奨を行うための受診勧奨資材を開発し、モデル5市を中心に大規模な地域介入を実施した。そして、2022年度は、大阪府内全市町村での効果的な受診勧奨の実装を目指し、全市町村に受診勧奨資材を提供し、市町村の保健師や行政職員等を対象としたワークショップ（第1回～第4回ワークショップ、フォローアップ個別相談会）を実施した。</p>
Webサイト	https://www.osakafu-u.ac.jp/press-release/pr20211015/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 




3	大阪市阿倍野区における地域課題解決に向けた検討会議
連携先	大阪公立大学看護学部
活動期間	2022年度～継続中
実績・報告	<p>大阪市阿倍野区金塚地区における地域課題について、金塚地域長寿会会長、地域福祉コーディネーター、訪問看護師等と意見交換を行い、課題解決に向けた取り組みについて話し合いを行った。特に、当該地域における高齢者の孤独死をきっかけに、高齢者の買い物支援や閉じこもり予防等を目的に始まった『金塚ミニマーケット』の現状について話し合いを行い、今後の方向性について検討を行った。</p> <p>実施日：2023年2月8日（水） 場所：あべのマルシェ商店街</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	https://www.omu.ac.jp/connect/assets/kangomeeting.pdf
SDG s への取り組み	 




4	マタニティひろば ハロー赤ちゃん!
連携先	公益社団法人 母子衛生研究会
活動期間	2006年～継続中
実績・報告	<p>①母性と小児の保健衛生思想度は一般の知識も高まり、行政面でも種々の施策が考えられている一方、核家族化、地域社会との交流減少化などから十分な母性保健、小児保健の知識が正しく理解されていない現状を是正し妊婦の保健衛生についての知識を高め、地域の母子保健の幅広い向上を目的とした事業</p> <p>②大阪市内在住の妊婦とパートナーへ「子育ては妊娠中から」をテーマに講演している。</p> <p>③講演日：2022年5月27日、2022年9月9日、2023年1月26日</p>
Webサイト	https://www.mcfh.or.jp/ https://www.mcfh.or.jp/seminars/premama.html
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  




5	小中学校における学校保健に関するアドバイザー
連携先	河内長野市
活動期間	2013年度～継続中
実績・報告	<p>2022年度は小中学校現場でのヤングケアラーの理解と支援を充実させるために、事例検討会を企画、運営した。事例検討会を行う中で、要保護児童対策協議会など福祉行政システムや事業について教師が知らないことがわかり、河内長野市の子ども子育て課につないで、最前線の教師が知っておいてほしいこと、学校内外での動き方などについて子ども子育て課による研修会を企画してもらった</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	   




6	出張講義ほか
連携先	府立高等学校ほか
活動期間	2002年度～継続中
実績・報告	<p>2022年度は出張講義2校、学校におけるセクシュアリティ教育、人権教育の授業実践に対する助言を3校に行った。</p> <p>〔出張講義〕</p> <p>2022年7月15日（金）大阪府教育センター附属高等学校1年生（240名）テーマ「これから羽ばたく皆さんと考えたい‘生きる’ということ」</p> <p>2022年9月22日（木）大阪府立東住吉総合高等学校1年生（235名）テーマ「多様な存在を認め合える自分と社会をめざすには？」</p> <p>〔助言〕</p> <p>2022年4月11日（月）大阪府立農芸高等学校（2021年度1年生に行った出張講義をもとに、2年生を対象に教師が行う授業案への助言）</p> <p>2022年6月6日（月）7月8日（金）大阪府立東住吉総合高等学校（学年の課題を共有し、出張講義の位置づけと講義後の評価やモニタリングについて学年会議に参加し、教師に対し福祉的な視点と子どもへの影響について）</p> <p>2022年6月29日（水）大阪府教育センター附属高等学校（保健指導主事、養護教諭、スクールカウンセラーと教育支援の内容について討議）</p> <p>2022年11月26日（土）開明中学校（前年度行った出張講義をもとに、次学年（2年生3年生）の授業に対し、外部講師の紹介と内容への助言。1年生に対し、今後も踏まえて養護教諭が実践する内容について助言）</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	   




7	生きるチカラ学びサポート事業
連携先	大阪市生野区役所地域まちづくり課
活動期間	2018年度～継続中
実績・報告	<p>子どもたちが自分の将来を前向きに考える環境づくりを促進し、自らの力で未来を切り開いていくために欠かすことのできない自尊感情の醸成を図ることを目的に、学校の要請に応じて各学校が取り組む「キャリア教育」や「性・性教育」を支援する活動を実施している。</p> <p>2022年6月22日（水）北鶴橋小学校 6年生 25名</p> <p>2022年6月22日（水）小路小学校 5、6年生 77名</p> <p>2022年11月28日（月）大池中学校 1年生 49名</p> <p>2023年1月24日（火）北鶴橋小学校 4年生 21名</p> <p>2023年2月17日（金）東生野中学校 3年生 76名</p>
Webサイト	https://twitter.com/ikuno_education
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  




8	兵庫県防災リーダー養成講座
連携先	兵庫県
活動期間	2022年度～継続中
実績・報告	<p>対象地域：兵庫県</p> <p>主催者：兵庫県広域防災センター 連携自治体：兵庫県</p> <p>役割：講師 対象：防災士を取得予定の兵庫県内の住民と関係者</p> <p>概要：兵庫県では、地域における防災力を向上させるため、自主防災組織のリーダーなど、地域防災の担い手の方を対象に「ひょうご防災リーダー養成講座」を開催している（防災士取得プログラム）。プログラムのうち、地域防災力向上のための避難所運営訓練（HUG）及びワークショップ（講義及び演習）（感染症対策含む）を他大学の教員と協働チームで担当している。</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  




9	高知県母子保健コーディネーター等研修会
連携先	高知県
活動期間	2017年度～継続中
実績・報告	<p>対象地域：高知県全域</p> <p>主催者：高知県庁 連携自治体：高知県内福祉保健所・県内自治体</p> <p>役割：講師 対象：行政機関</p> <p>概要：高知県では妊娠期から子育て期までの支援として、市町村に子育て世代包括支援センターを設置し、その拠点に保健師等専門職を母子保健コーディネーターとして配置し、きめ細やかな支援を行うための支援に取り組んでいる。妊婦や家庭支援のかなめとなる母子保健コーディネーター及び保健師等の専門職の人材育成のための研修会を開催する。県下自治体の実情に応じた体制の構築に向け、高知県より依頼をうけ2017年度より本研修会を開催。地域課題の解決に向け県下自治体保健師への継続的な教育的支援およびアドバイスを行っている。</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  

10	千葉県子育て世代包括支援センター職員スキルアップ研修
連携先	千葉県
活動期間	2021年度～継続中
実績・報告	千葉県全域の自治体保健師の参加希望者を対象とした子育て世代包括支援センター支援事業スキルアップ研修。参加者は千葉県内の保健師を中心とした子育て世代包括支援センター職員および母子保健関係者。2022年度は全5回の連続講座のうちの1コマを担当、講義テーマは「子育て世代包括支援センターにおける健康危機管理」。参加者は本年度実際に現場で当該事業を担当する自治体職員、保健師を対象としている。年度ごとに担当する講義テーマは実情に応じたテーマ内容で実施している。 主催者：千葉県（委託：子育て出産・子育て包括支援推進機構） 対象：行政機関 役割：講師
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  



11	土佐清水市子育て世代包括支援連絡協議会研修
連携先	土佐清水市
活動期間	2017年度～継続中
実績・報告	当該年度の自治体の課題を踏まえたテーマにて、自治体および地域の医療機関、連携機関が参加する連絡協議会にて、ケース検討会および母子保健に関する研修を開催している。 テーマ例) 経済的困窮状態の多子家庭にある妊娠中・産後の母親に対する支援について ・安心して出産・育児ができるための支援についてなど 主催者・連携自治体：土佐清水市健康推進課 役割：講師 対象：行政機関・協力機関職員
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  



12	黒潮町産前産後サポート事業研修
連携先	黒潮町
活動期間	2020年度～継続中
実績・報告	黒潮町では、2020年度より住民と行政が協働したまちづくりを行い、妊産婦等が抱える妊娠・出産や子育てに関する悩み等について、子育て経験者やシニア世代が相談しやすい相手等を行い、家庭や地域での妊産婦等の孤立感の解消を図ることを目的に、母子保健推進員の養成を立ち上げ養成を始めた。当該自治体保健師から立ち上げ期の相談をうけたことから、立ち上げ期より本自治体にかかわり、継続的に推進員の養成、スキルアップ研修、実施にあたる相談等を行い、当該年度の課題に応じた研修会を実施している。 対象：行政機関・住民 主催者・連携自治体：黒潮町 役割：講師
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  



13	地域看護診断演習
連携先	大阪市内4区
活動期間	保健師課程授業科目～継続中
実績・報告	保健師活動における具体的な活動方法を理解・習得するために、地域保健活動の展開方法の1つである地域看護診断のプロセスについて学ぶ保健師課程科目。地域のデータとして、地理的・社会的・文化的特性ならびに保健統計など既存の資料を踏まえ、大阪市内24区の中の実習区を対象に地区踏査（フィールドワーク）を行い、個人や家族を含む集団および地域を単位としたアセスメントにより地域の健康課題を導き出し、地域保健活動計画を立案する能力を養う。 連携自治体：大阪市
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  



14	公衆衛生看護実習Ⅰ・Ⅱ
連携先	大阪市内4区
活動期間	保健師課程実習科目～継続中
実績・報告	大阪市内の保健福祉センターにおいて、実施している保健師課程実習科目。実習区の地区診断を行い、地域の健康課題を抽出するとともに健康課題を解決するための保健事業の企画立案、実施、および評価など、一連の公衆衛生看護活動の基盤となる過程を理解する。該当区の各種保健事業や地区組織活動への参加、健康教育の企画・実施・評価、および家庭訪問を体験することにより、公衆衛生看護に対する理解を深め、自ら実践できる能力を養う。 協力自治体：大阪市
Webサイト	
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	  



15	大学近隣の地域住民と協働した授業の展開
連携先	地域ボランティア団体,NPO法人羽曳が丘E&L,ゆうゆうクラブを支える会
活動期間	2014年度～継続中
実績・報告	<p>保健師課程科目の授業において、大学近隣の羽曳野市羽曳が丘の地域住民さんの協力を得て健康教育演習や継続家庭訪問実習を実施している。健康教育演習では年に2回来校いただき、学生はインタビューを行い住民さんの生活実態や健康への思いなどのニーズに基づく健康課題をテーマとした健康教育を実施している。また、継続家庭訪問実習では、2020年度より協力いただいております。学生が2人1組で年4回、同一の対象者の自宅に訪問し、家庭訪問技術について学んでいる。いずれも、実際の住民さんを対象とするため、学生にとってはアクティブラーニングの機会となっている。</p> <p><2022年度の実施時期></p> <p>健康教育演習：5月25日（水）と6月29日（水）</p> <p>継続家庭訪問実習：4月、6月、9月、12月の計4回</p>
Webサイト	
写真・チラシ等	https://www.omu.ac.jp/connect/assets/kangoclass.pdf
SDG s への取り組み	   



16	地域包括支援センター看護職のネットワークの構築
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>地域包括支援センター看護職のネットワークの構築を目指して、包括所属保健師らが集い横のつながりをもつこと、互いの状況を理解し合い、エンパワメントできることを第一段階の目的としてzoom 交流会 3 回開催し、研究・活動報告やグループワークを行った。(担当 看護学研究科 岡野明美)</p> <p>第1回交流会：居宅介護支援事業所との関係</p> <p>第2回交流会：コロナ禍のフレイル予防～介護予防の地域資源をつくるには</p> <p>第3回交流会：介護予防事業を個別支援から地域支援へ展開するための手法</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 



17	同期型オンライン形式による集中治療に携わる看護師のためのクリティカルケア看護実践講座
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>同期型オンライン形式による集中治療に携わる看護師のためのクリティカルケア看護実践講座を全2回開催した。(担当 看護学研究科 佐竹陽子)</p> <p>第1回「クリティカルケア領域における倫理的課題と看護実践」</p> <p>第2回「集中治療を受ける患者・家族への精神的支援」</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 



18	がん患者のライフステージにおける課題対応を志向した看護師養成コース（がん看護インテンシブコース）
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>がん看護に携わる看護職者が様々なライフステージにあるがん患者の抱える課題（遺伝性がん、認知症を持つ高齢がん患者の支援）について理解し、がん患者が抱える課題を克服できるような支援を考案し、実践できるようになることを目的とし、がん患者のライフステージにおける課題対応を志向した看護師養成コース（がん看護インテンシブコース）を開催した。(担当 看護学研究科 林田裕美)</p> <p>第1回「遺伝性腫瘍を有する患者と家族への支援」</p> <p>第2回「認知症のある高齢がん患者への支援」</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 



19	家族への看護を考える会 家族看護オンラインフォーラム
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	臨床における家族看護実践を支えるために家族への看護を考える会～家族看護オンラインフォーラム～を開催した。(担当 看護学研究科 井上敦子) テーマ「家族との関わり合いの場面から支援の在り方を考える」 第1部家族支援専門看護師の実践報告を含めた講義 第2部ブレイクアウトルームを活用した情報共有
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/ https://www.omu.ac.jp/nurs/kazokukango/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 



20	看護職のための継続教育実践講座
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	大阪府下の医療施設に所属する看護職者を対象とし、看護教育に関する基本的な理論に基づいて継続教育における実践方法について考える機会を提供することを目的とした「看護職のための継続教育実践講座」を開催した。(担当 看護学研究科 紙野雪香) 第1回「臨床判断能力の育成と学習環境」 第2回「看護実践の意味とナラティブ」 第3回「成人教育理論の看護における活用」
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

21	看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修会
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	看護職や介護職などケア実施者に腰痛予防に必要な知識と技術を普及するとともに、臨床において腰痛予防対策を推進していけるリーダー的人材を育成する目的で、看護職・介護職のための腰痛予防推進リーダー研修会を対面にて3回企画・実施し、講義と実技研修を行った。また、対面で開催した講義と実技を録画し、オンデマンドで配信を行った。(担当 看護学研究科 杉本吉恵)
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDG s への取り組み	 

22	看護職を対象とした実践に活かす看護研究セミナー
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	大阪府内に在住または府内の医療・保健・福祉施設に所属する看護師に対して、看護研究セミナー「看護職を対象とした実践に活かす看護研究セミナー」を開催し、看護師の研究能力の向上を図った。セミナーは全3回開催した。（担当 看護学研究科 細名水生）
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

23	健康的に日常を生きることを応援する「ホッと&ハートの会」
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>大阪府民の健康相談や健康教育とともに、療養上の情報交換の場、悩みなどを自由に語る場を提供する事を目的とし、健康的に日常を生きることを応援する「ホッと&ハートの会」を全4回開催し、講義やワークショップを行った。（担当 看護学研究科 南村二美代）</p> <p>第1回「オーラルフレイルを予防するために、皆で語り合おう」</p> <p>第2回「『腸活』って何？一緒に考えてみませんか？」</p> <p>第3回「季節を感じて体と心をととのえよう」</p> <p>第4回「もしもの時にそなえる～これからの人生の過ごし方を一緒に考えてみませんか？～」</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/ https://www.omu.ac.jp/nurs/manseikangoken/patients/hah/index.html
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

24	地域における出前健康講座
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>地域における出前健康講座</p> <p>地域のボランティア団体で活動している人々が他市の状況把握や仲間とのディスカッションを通じて自分たちの行う地域活動の意義を振り返り、今後の課題を検討し、課題解決に向け関係職種との協働の意義を再確認するため、羽曳が丘地区で高齢者支援の担い手への支援を視野に入れ住民組織のスタッフを対象とした懇話会を実施した。また、高齢者の買い物支援や閉じこもり予防を目的に開始された大阪市阿倍野区の金塚ミニマーケットの現状について話し合い、地域の課題を共有する取り組みを行った。（担当 看護学研究科 根来佐由美）</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

25	暮らしの保健室における住民育成活動
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>今回、地域において複数の介護事業を運営する事業所の住民交流スペースの立ち上げ・企画に参画するとともに、「暮らしの保健室」を開催し住民の健康増進にむけた活動を行った。（担当 看護学研究科 深山華織）</p> <p>第1回「お医者さんの上手なかかりかた」</p> <p>第2回「もしものときの話、一緒にしませんか？」</p> <p>第3回「体も心も健やかに絶好腸な排便習慣」</p> <p>第4回「府民から富眠へ よりよい眠りのためのおはなし」</p>
Webサイト	https://www.yamakatsu-library.com/ https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/institutions/
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	 

26	CNSネットワーク活動
連携先	
活動期間	2022年度
実績・報告	<p>CNSネットワーク活動</p> <p>専門看護師（CNS）・プレCNSの活動実践能力の向上と交流促進のために交流会の開催や、メールマガジンの発刊を行った。（担当 看護学研究科 富川順子）</p> <p>第1回交流会「専門看護師の臨地実習をいろんな分野で考えてみる」</p> <p>第2回交流会「CNSの役割について話し合おう～新人CNSの取組みからCNSの役割構築・開発、高度実践とは何かを考える～」</p> <p>第3回交流会「退院調整について話し合おう～精神看護の事例を通して～」</p> <p>第4回交流会「テーマ：病とともに生きる親とその子どもを支える看護について考えよう」</p> <p>第5回交流会「倫理調整について考えよう」</p>
Webサイト	https://cms-admin.omu.ac.jp/nurs/cns/index.html
写真・チラシ等	
SDGsへの取り組み	